



ECOWAY

**平成26年3月期
(2013年度)**

決算説明会

2014年4月25日

株式会社神戸製鋼所



報告事項

1. 2013年度実績
2. 2014年度業績見通し
3. セグメントの概況
4. 財務の状況
5. 中期計画の進捗状況



ECOWAY

報告事項

1. 2013年度実績



ECOWAY

2013年度 実績

(単位:億円)

	2012年度		2013年度			差異	
	実績	2月公表	実績		対前年	対前回	
	①	②	上期	下期	③-①	③-②	
売上高	16,855	18,300	8,893	9,353	18,246	+1,391	△54
営業利益	112	1,050	544	600	1,145	+1,033	+95
経常損益	△181	700	431	418	850	+1,031	+150
特別損益	△70	134	73	△41	31	+102	△103
当期損益	△269	650	441	260	701	+971	+51



ECOWAY

2013年度 セグメント別売上高

(単位:億円)

	2012年度		2013年度			差異	
	実績	2月公表	実績			対前年	対前回
	①	②	上期	下期	③	③-①	③-②
鉄鋼	7,428	8,000	3,899	4,185	8,085	+657	+85
溶接	822	860	419	463	883	+61	+23
アルミ・銅	2,622	2,950	1,481	1,475	2,956	+334	+6
機械	1,671	1,550	713	784	1,498	△173	△52
エンジニアリング	464	400	208	182	391	△73	△9
神鋼環境ソリューション	726	680	309	372	681	△44	+1
コベルコ建機	2,678	3,200	1,629	1,552	3,182	+503	△18
コベルコクレーン	455	560	255	311	566	+111	+6
その他	732	700	321	390	712	△20	+12
消去	△745	△600	△345	△365	△710	+35	△110
合計	16,855	18,300	8,893	9,353	18,246	+1,391	△54



ECOWAY

2013年度 セグメント別経常損益

(単位:億円)

	2012年度		2013年度			差異	
	実績 ①	2月公表 ②	実績		③	対前年 ③-①	対前回 ③-②
			上期	下期			
鉄鋼	△502	290	155	180	335	+838	+45
溶接	21	60	28	43	72	+50	+12
アルミ・銅	39	130	80	70	151	+112	+21
機械	120	55	21	43	64	△55	+9
エンジニアリング	△13	△40	△1	△37	△39	△26	+1
神鋼環境ソリューション	39	24	10	15	26	△13	+2
コベルコ建機	68	150	101	49	151	+82	+1
コベルコクレーン	△22	30	17	14	32	+54	+2
その他	75	60	24	44	68	△7	+8
消去	△7	△59	△7	△5	△12	△4	+47
合計	△181	700	431	418	850	+1,031	+150



ECOWAY

報告事項

2. 2014年度業績見通し



ECOWAY

2014年度 業績見通し

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 対前年 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	8,893	9,353	18,246	9,500	10,000	19,500	+1,254
営業利益	544	600	1,145	400	650	1,050	△95
(在庫評価影響を除く)	(384)	(580)	(965)	(425)	(665)	(1,090)	(+125)
経常利益	431	418	850	250	550	800	△50
(在庫評価影響を除く)	(271)	(398)	(670)	(275)	(565)	(840)	(+170)
特別損益	73	△41	31	—	—	—	△31
当期利益	441	260	701	200	300	500	△201



ECOWAY

2014年度 セグメント別売上高

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 対前年 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
鉄鋼	3,899	4,185	8,085	3,950	4,200	8,150	+65
溶接	419	463	883	460	470	930	+47
アルミ・銅	1,481	1,475	2,956	1,600	1,650	3,250	+294
機械	713	784	1,498	790	910	1,700	+202
エンジニアリング	208	182	391	240	350	590	+199
神鋼環境ソリューション	309	372	681	270	405	675	△6
コベルコ建機	1,629	1,552	3,182	1,800	1,600	3,400	+218
コベルコクレーン	255	311	566	390	340	730	+164
その他	321	390	712	310	440	750	+38
消去	△345	△365	△710	△310	△365	△675	+35
合 計	8,893	9,353	18,246	9,500	10,000	19,500	+1,254



ECOWAY

2014年度 セグメント別経常損益

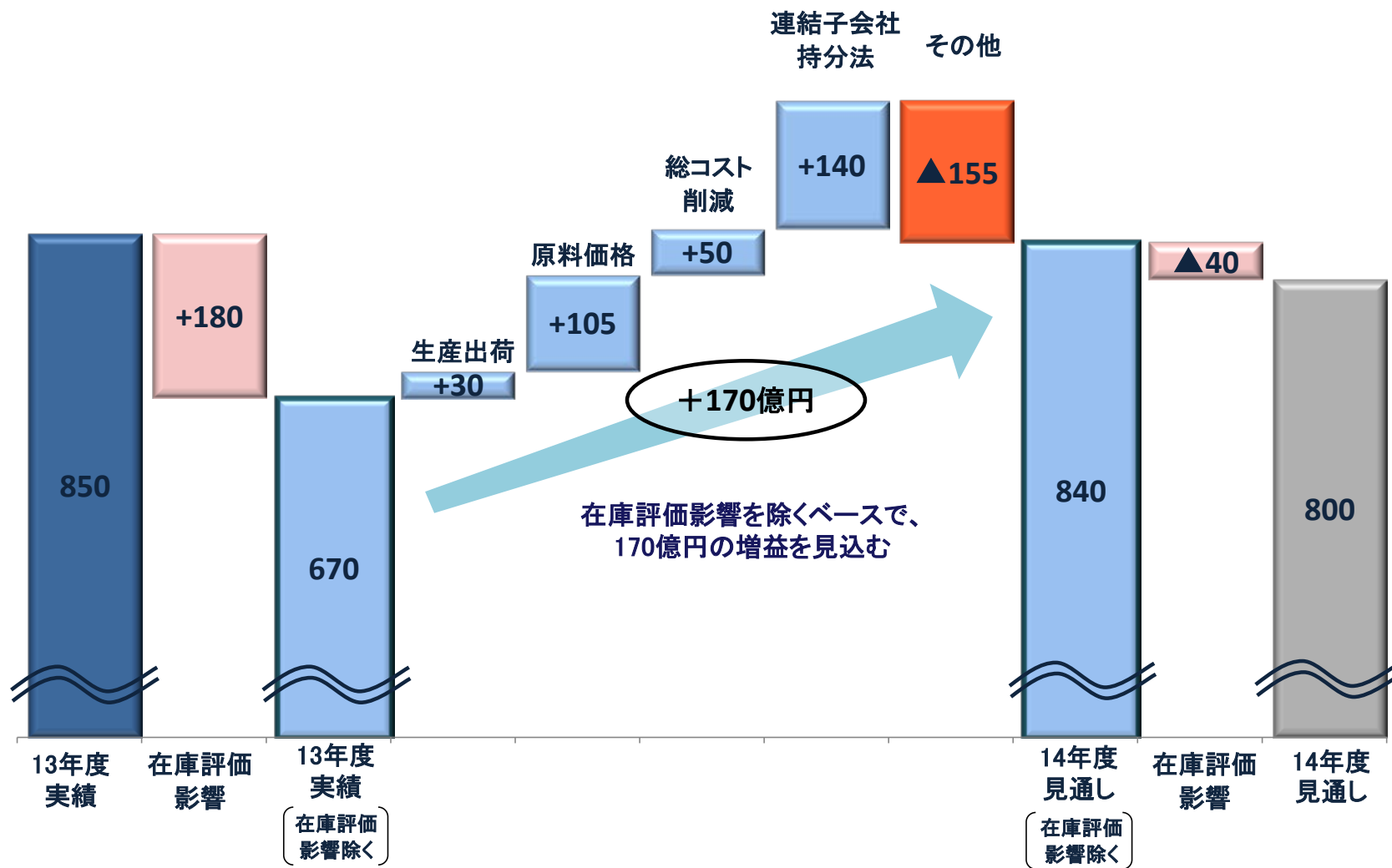
(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 対前年 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
鉄鋼	155	180	335	50	170	220	△115
溶接	28	43	72	30	35	65	△7
アルミ・銅	80	70	151	40	70	110	△41
機械	21	43	64	20	65	85	+21
エンジニアリング	△1	△37	△39	△15	5	△10	+29
神鋼環境ソリューション	10	15	26	△9	32	23	△3
コベルコ建機	101	49	151	130	90	220	+69
コベルコクレーン	17	14	32	15	20	35	+3
その他	24	44	68	10	50	60	△8
消去	△7	△5	△12	△21	13	△8	+4
合 計	431	418	850	250	550	800	△50



ECOWAY

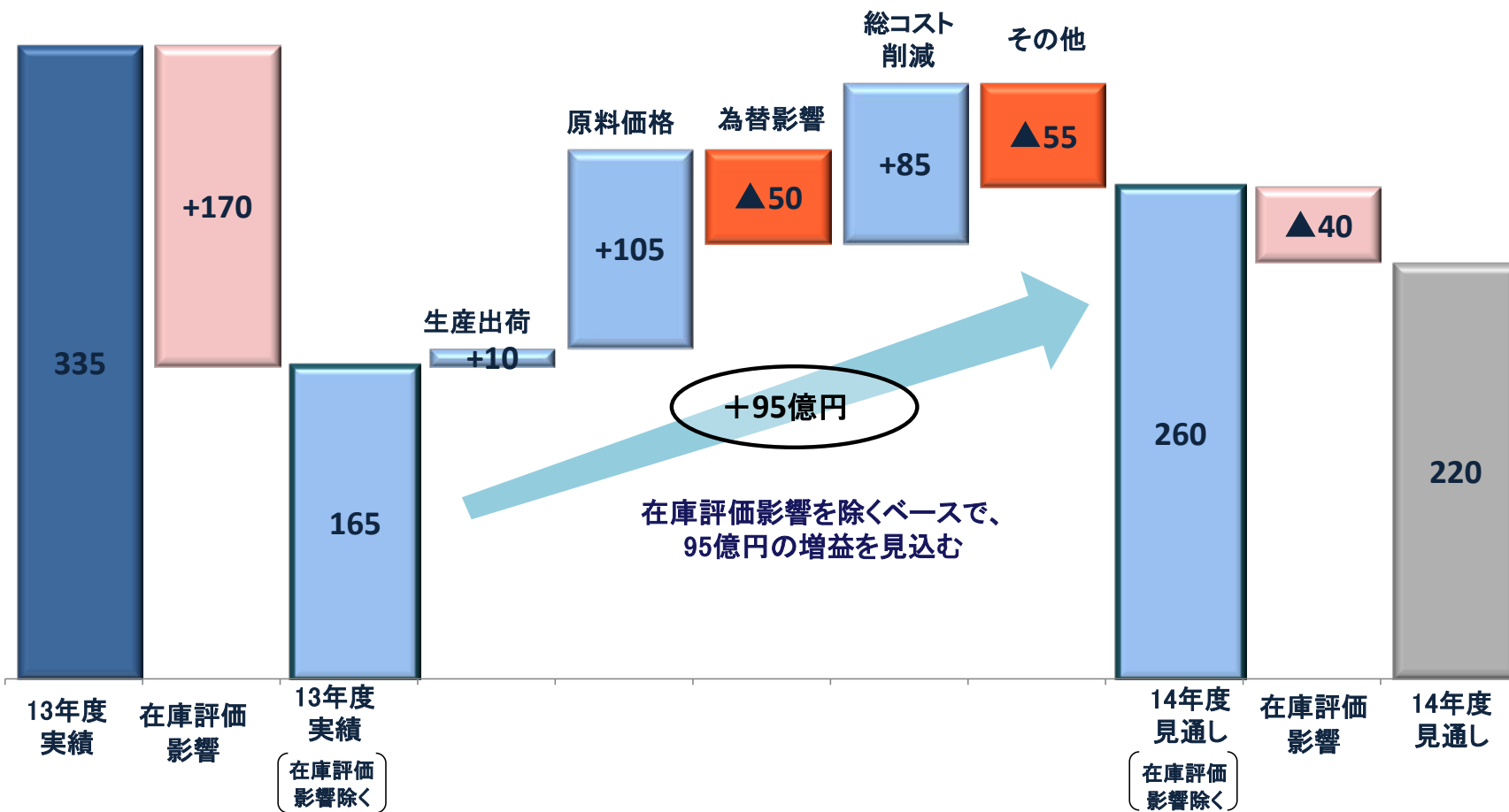
全社経常利益増減要因 13年度 ⇒ 14年度





ECOWAY

鉄鋼經常利益増減要因 13年度 ⇒ 14年度





ECOWAY

報告事項

3. セグメントの概況



ECOWAY

(余白)



ECOWAY

【鉄鋼】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	3,899	4,185	8,085	3,950	4,200	8,150	+65
経常利益	155	180	335	50	170	220	△115
(内 在庫評価影響)	(155)	(15)	(170)	(△25)	(△15)	(△40)	(△210)

(効果額 : 2012年度比累計)

効果額	2013年度～2014年度		中期計画
	2013年度	累計	2013年度～2015年度
収益改善額	300億円	440億円	600億円

<2014年度の状況>

- 消費増税前の駆け込み需要の反動が想定されるものの、自動車分野、造船分野の需要増加により、2013年度比微増の粗鋼生産量を想定。



ECOWAY

【鉄鋼】生産・販売状況

		2012年度			2013年度			
		上期	下期	年度	上期	下期	年度	
全国粗鋼	(万t)	5,476	5,253	10,729	5,578	5,573	11,151	
全国在庫水準	(万t)	568	541	--	553	573	--	〔2月末〕
薄板3品在庫水準	(万t)	416	385	--	388	399	--	〔2月末〕
国内自動車生産台数	(万台)	491	464	955	474	423	897	〔4-2月計〕
<当社>								
粗鋼生産	(万t)	352	349	701	379	383	762	
鋼材販売量	(万t)	289	290	579	307	320	627	
(内 国内)		(206)	(199)	(405)	(208)	(221)	(429)	
(内 輸出)		(83)	(90)	(173)	(99)	(99)	(198)	
鋼材販売単価	(千円/t)	81.1	73.4	77.2	78.8	81.5	80.2	
鋼材輸出比率(金額ベース)		26.1%	29.3%	27.6%	31.9%	30.8%	31.3%	

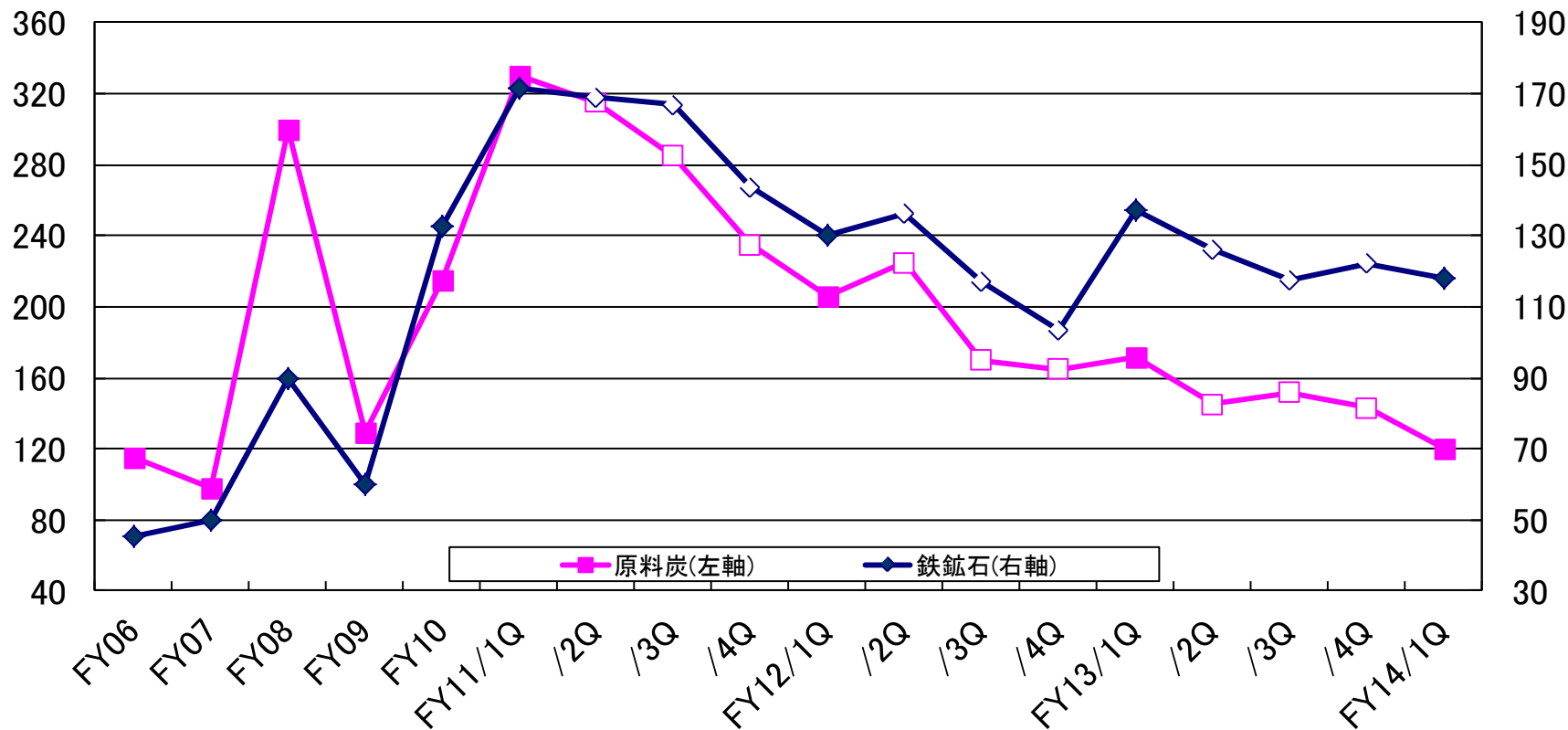


ECOWAY

【鉄鋼】鉄鉱石と原料炭(強粘炭)価格推移

(原料炭:\$/トン)

(鉄鉱石:\$/トン)

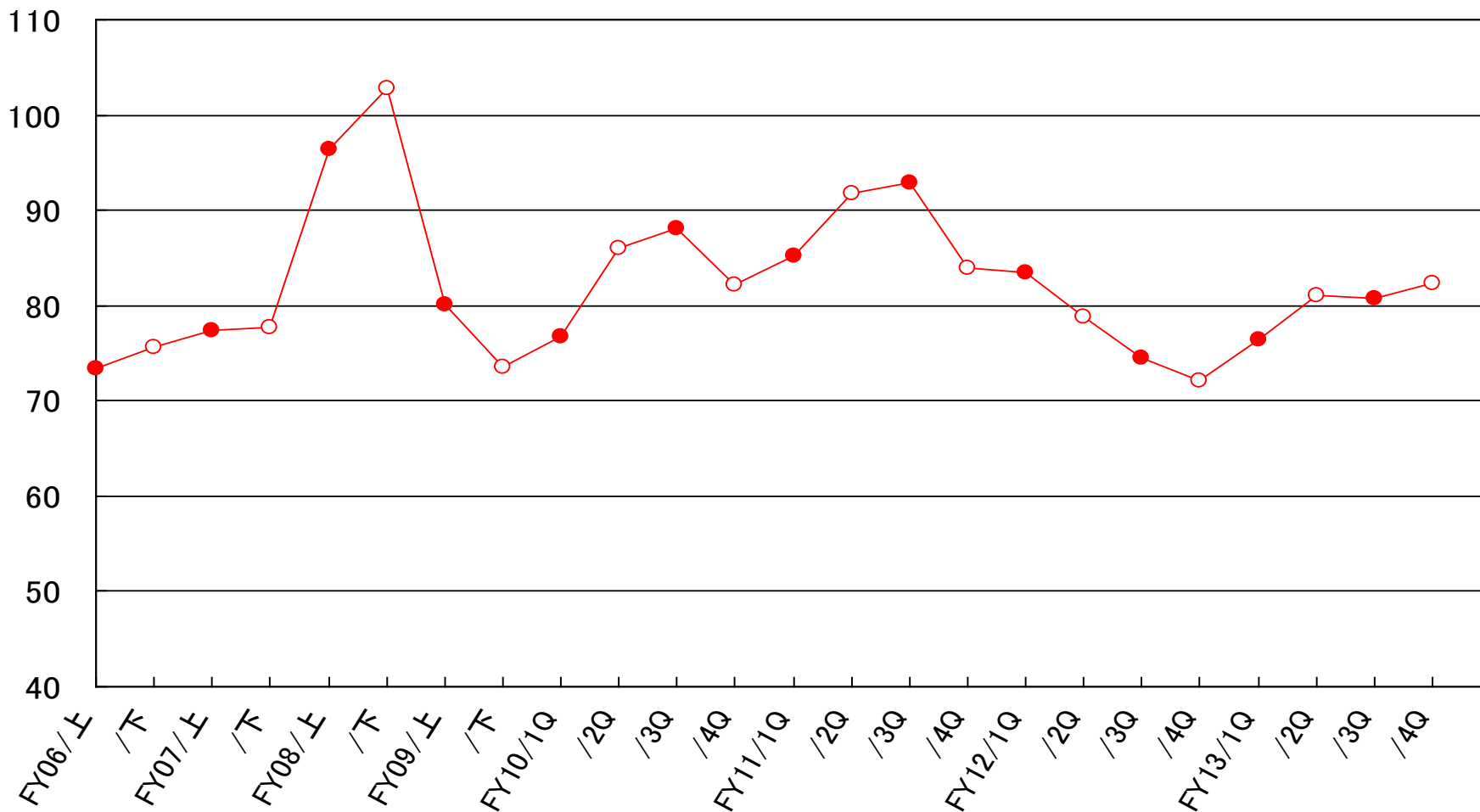




ECOWAY

【鉄鋼】鋼材単価の推移

(単位:千円/トン)





ECOWAY

【溶接】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	419	463	883	460	470	930	+47
経常利益	28	43	72	30	35	65	△7

<溶接材料 需要実績>

	2012年度			2013年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
国内需要(輸入材除く)	112	104	216	103	113	216
<当社グループ販売状況>						
国内	65	59	124	60	66	126
海外	102	98	200	96	96	192
グループ合計	167	157	324	155	163	318

<2014年度の状況>

- 国内は造船分野の数量回復を見込む一方、海外ではタイ等での経済減速影響が懸念される。



ECOWAY

【アルミ・銅】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,481	1,475	2,956	1,600	1,650	3,250	+294
経常利益	80	70	151	40	70	110	△41
(内 在庫評価影響)	(5)	(5)	(10)	(0)	(0)	(0)	(△10)

<2014年度の状況>

- 自動車向けのアルミ板材、エアコン向け銅管は堅調な需要を見込む。
- エネルギー価格の高止まりや在庫評価影響等により前年度比減益の見込み。



ECOWAY

【アルミ・銅】需要実績と当社販売実績

(単位:千ト)

	2012年度			2013年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
軽圧品需要	997	955	1,952	979	1,005	1,984
アルミ板	600	559	1,159	574	575	1,149
アルミ押出	397	396	793	405	430	835
内 缶材(国内)	(218)	(196)	(414)	(217)	(194)	(411)
伸銅品需要	258	238	496	252	268	520
板 条	197	184	381	197	209	406
銅 管	61	54	115	55	59	114

<当社の販売状況>

アルミ圧延品 国内	114	106	220	113	109	222
輸出	20	19	39	22	23	45
銅板条	23	19	42	24	24	48
銅 管	42	37	79	44	41	85



ECOWAY

【機械】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	713	784	1,498	790	910	1,700	+202
経常利益	21	43	64	20	65	85	+21
受注高	742	786	1,528	775	805	1,580	+52

<受注高推移>

2012年度1,095億円→2013年度1,528億円

<2014年度の状況>

- 圧縮機や樹脂機械は堅調な需要を見込む。
- 円高是正による受注時採算の改善やコストダウンの取り込みにより、前年度比増益の見込み。



ECOWAY

【エンジニアリング】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	208	182	391	240	350	590	+199
経常損益	△1	△37	△39	△15	5	△10	+29
受注高	200	298	498	130	320	450	△48

<2014年度の状況>

- 原料や鉄源価格の下落により、直接還元鉄プラントの更なる案件獲得には時間を要すると想定。
- 放射性廃棄物処理等の復興関連案件への取り組みを強化するも、赤字解消には至らず。



ECOWAY

【神鋼環境ソリューション】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	309	372	681	270	405	675	△6
経常損益	10	15	26	△9	32	23	△3



ECOWAY

【コベルコ建機】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,629	1,552	3,182	1,800	1,600	3,400	+218
経常利益	101	49	151	130	90	220	+69

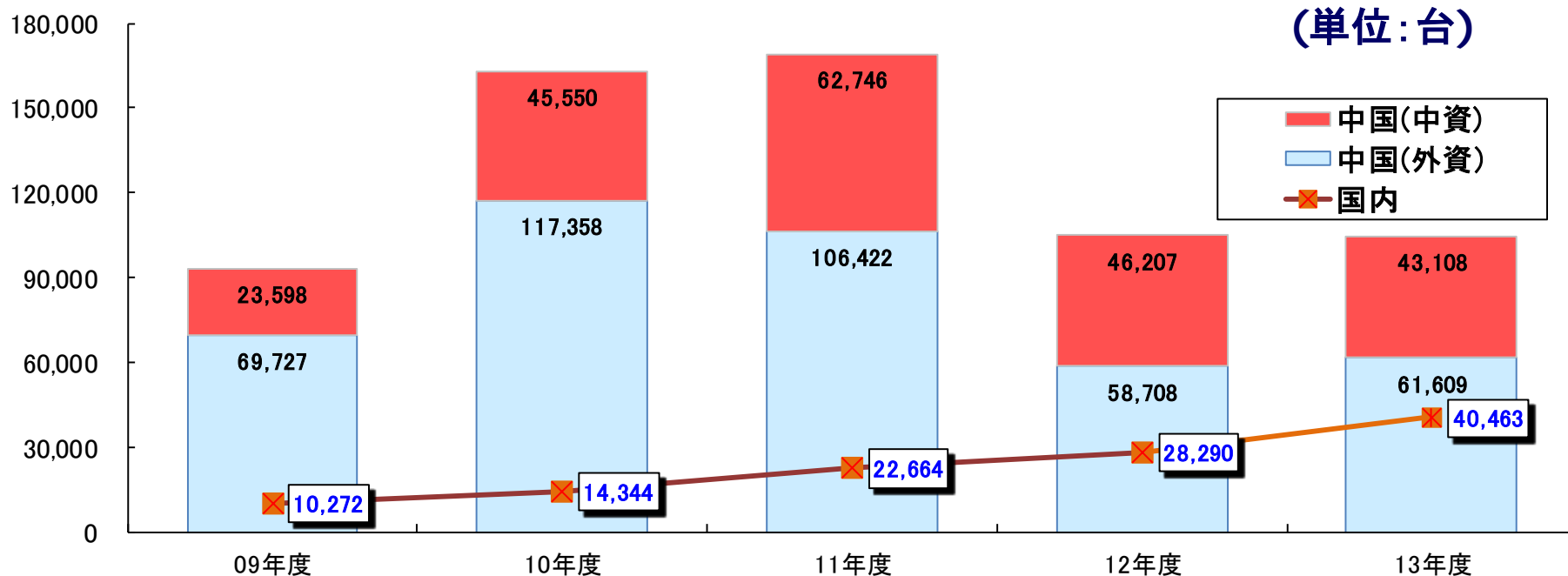
<2014年度の状況>

- 国内では、排ガス規制導入や消費増税前の駆け込み需要からの反動減を見込む。
- 欧米では、販売流通網の構築が進み、販売台数の増加を予想。中国においても需要増加を想定する一方、東南アジアの需要は、為替や資源政策、タイの政情不安等により前年度比減少の見込み。
- 中国、欧米での販売台数増加により、経常損益は前年度比増益の見込み。



ECOWAY

【コベルコ建機】油圧ショベル需要動向



2012年度実績				2013年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
国内	12,908	15,382	28,290	17,702	22,761	40,463
中国※						
外資	41,817	16,891	58,708	37,554	24,055	61,609
中資	30,202	16,005	46,207	26,960	16,148	43,108
合計	72,019	32,896	104,915	64,514	40,203	104,717

(※中国は1-12月でミニ含む 出典:中国工程机械工業協会)



ECOWAY

【コベルコクレーン】

(単位:億円)

	2013年度実績			2014年度見通し			差異 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	255	311	566	390	340	730	+164
経常利益	17	14	32	15	20	35	+3

<2014年度の状況>

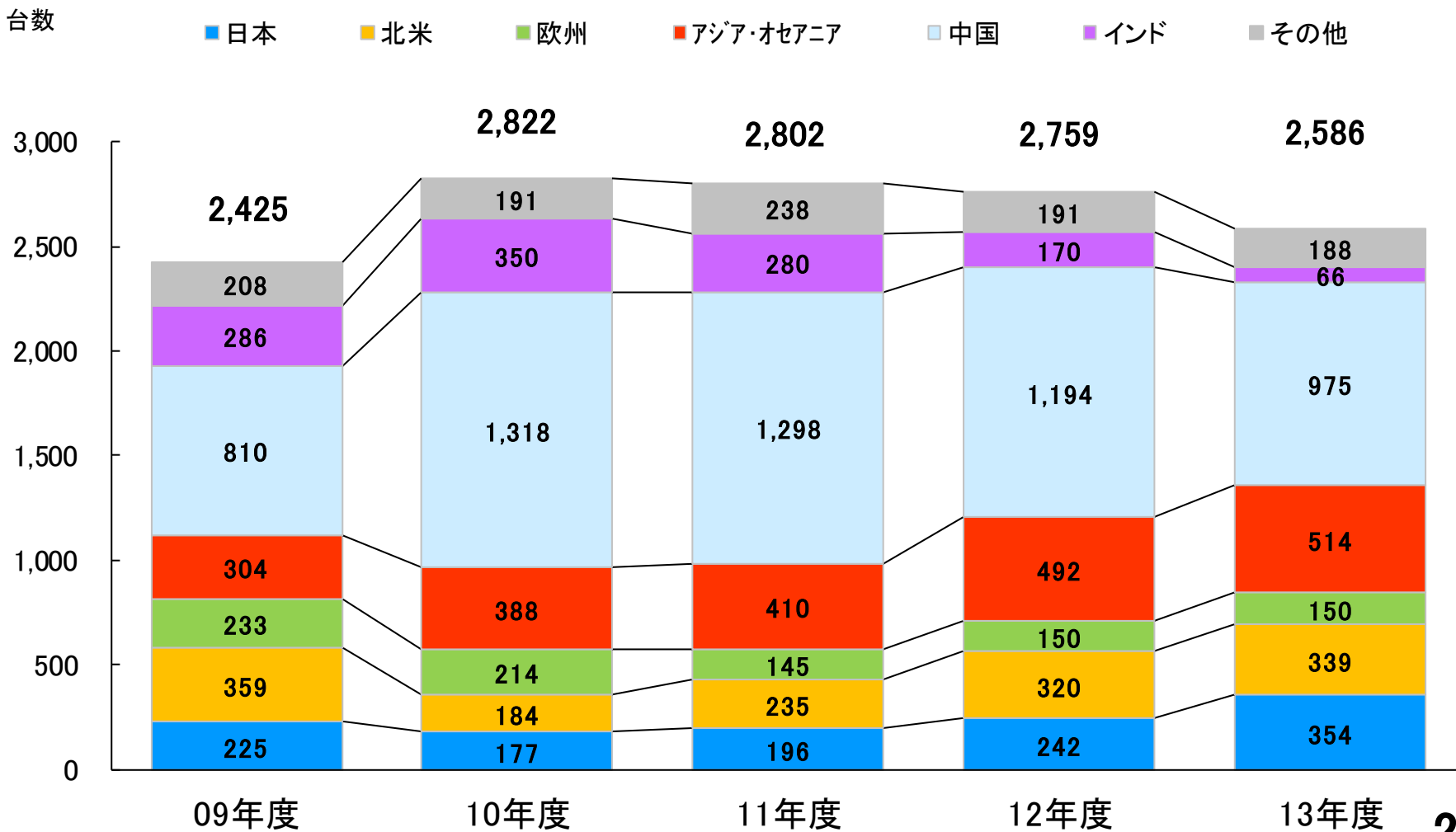
- 国内外共に需要が堅調に推移し、前年度比増益となる見込み。



ECOWAY

【コベルコクレーン】

クローラークレーンの世界需要(※当社推定)





ECOWAY

報告事項

4. 財務の状況



ECOWAY

フリー キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2012年度	2013年度			2014年度			差異	
	実績 ①	実績		年度 ②	見通し		年度 ③	②-①	③-②
		上期	下期		上期	下期			
営業キャッシュ・フロー	308	742	1,038	1,780	600	800	1,400	+ 1,472	△ 380
投資キャッシュ・フロー	△ 1,230	△ 83	△ 526	△ 609	△ 650	△ 700	△ 1,350	+ 621	△ 741
フリーキャッシュ・フロー	△ 921	659	512	1,171	△ 50	100	50	+ 2,093	△ 1,121
IPP含む フリーキャッシュ・フロー	△ 781	757	564	1,321	50	100	150	+ 2,102	△ 1,171

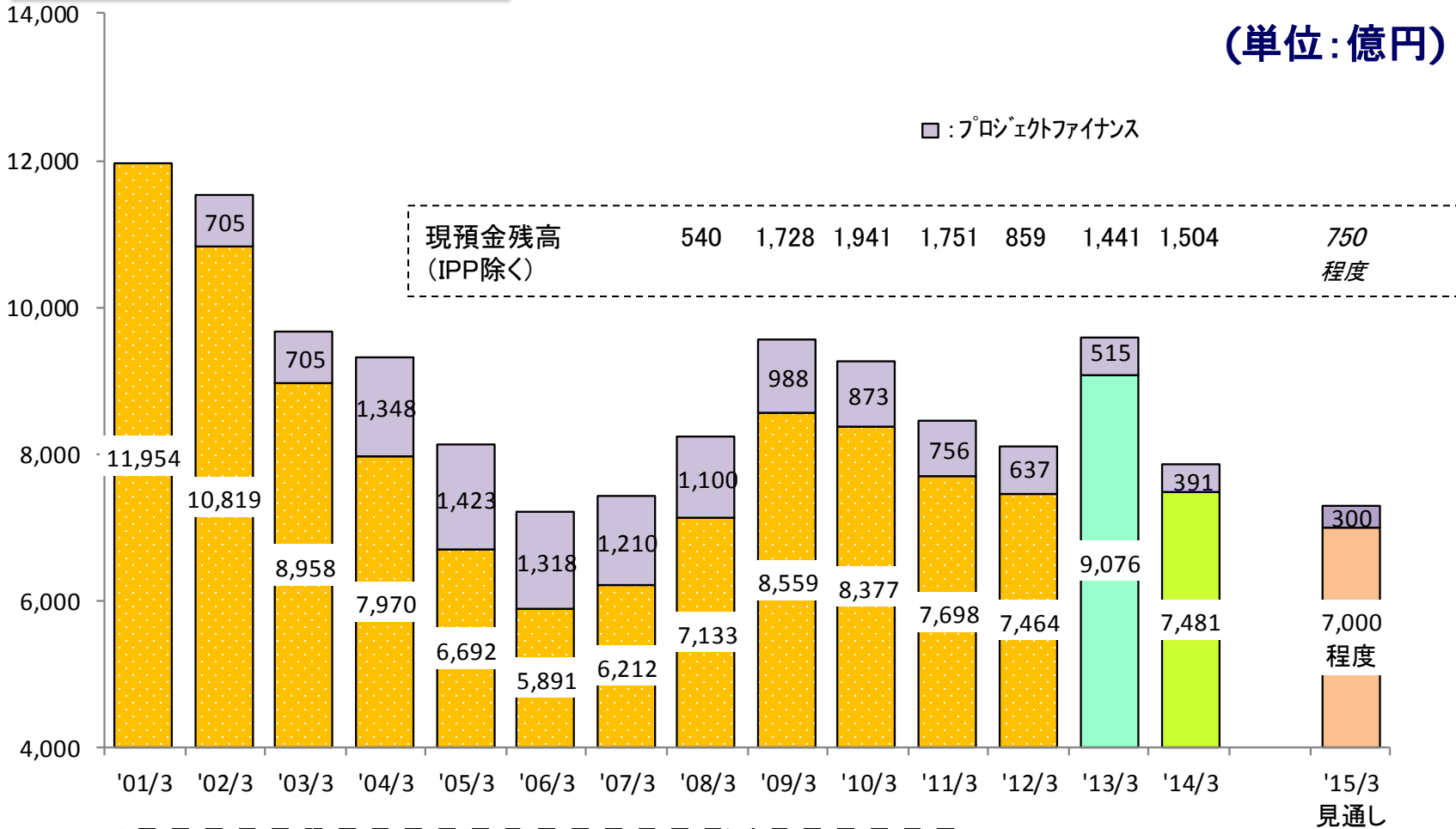
(効果額 : 2012年度比累計)

効果額	2013年度～2014年度		中期計画
	2013年度	累計	2013年度 ～2015年度
キャッシュ創出	1,200億円	1,500億円	1,200億円



ECOWAY

外部負債残高



	2012年度末 実績	2013年度末 実績	2014年度末 見通し
D/Eレシオ	1.75倍	1.11倍	1.0倍



ECOWAY

公募増資について

【公募増資の理由】

中期経営計画で掲げた、経営基盤の強化及び安定と成長への布石の着実な遂行

【増資資金の使途】

増資資金約836億円(手取概算額合計:約831億円)を下記案件へ充当

◇132億円を、鉄鋼事業及びアルミ・銅事業における自動車分野での設備投資資金及び投資資金へ充当

◇残額を、「鉄鋼事業の収益力強化」と「鋼材事業の構造改革」に係る設備投資資金へ充当



ECOWAY

報告事項

5. 中期計画の進捗状況



ECOWAY

経営基盤の再構築

(効果額：2012年度比累計)

重点施策	取り組み	2013年度～2014年度		中期計画
		2013年度	累計	2013年度～2015年度
鉄鋼事業の 収益力強化 (体質強化活動を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 設備投資効果 ● 生産現場レベルでのコスト削減 ● 原料コスト削減 ● 固定費削減 	300億円	440億円	600億円
体質強化活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 人事労務施策(※) ● 固定費削減 ● 調達コスト削減 ● 工場/ものづくり力強化 	190億円	180億円	300億円
財務体質の 改善	キャッシュ創出 <ul style="list-style-type: none"> ● たな卸資産の削減 ● 債権流動化の推進 ● 資産売却 ● 投資の厳選 	1,200億円	1,500億円	1,200億円

※ 14年4月より、役員報酬／管理職年俸カットを解除



ECOWAY

安定と成長への布石

◆鋼材事業の構造改革

●取り組み内容

- ・ 神戸製鉄所上工程設備を休止
- ・ 加古川製鉄所能力増強



2017年度での
神戸製鉄所の上工程集約に向け
計画を推進中

◆成長市場での事業拡大

鉄鋼	： 北米の自動車用冷延ハイテン製造設備稼働開始
	： 中国の自動車用冷延ハイテン製造合弁会社設立
アルミ・銅	： 中国のアルミ鍛造拠点における能力増強設備稼働開始
	： 中国の自動車パネル用アルミ板材製造会社設立
機械	： ブラジルの圧縮機販売・サービス拠点設立
エンジニアリング	： voestalpine社から米国のMIDREX還元鉄プラントを受注
コベルコ建機	： 欧米市場への事業再参入



◆電力供給事業の拡大

●栃木県真岡市でのガス火力発電所建設

- ・ 東京ガス(株)と発電した電力の販売について基本合意
- ・ 発電規模は120万kWを計画
- ・ 1号機の2019年後半、2号機の2020年前半稼動開始を予定
- ・ 現在、環境アセスメントを実施中

●神戸製鉄所で石炭火力発電所を増設

- ・ 関西電力(株)が本年実施予定の火力電源入札募集へ応札
- ・ 発電規模は最大140万kWを想定
- ・ 2021年度～2022年度供給開始を目処



ECOWAY

＜ご参考データ＞



ECOWAY

(余白)



ECOWAY

全社 差異内訳【12年度 ⇒ 13年度】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△ 110	△ 71	△ 181	431	418	850
				+1,031		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 70	その他	△ 264
原料価格	+ 240		
総コスト削減	+ 295		
鉄鋼在庫評価影響	+ 365		
アルミ銅在庫評価影響	+ 35		
連結子会社・持分法	+ 80		
減価償却方法変更影響	+ 210		
合計	+ 1,295	合計	△ 264



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳【12年度 ⇒ 13年度】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△ 240	△ 261	△ 502	155	180	335
				+ 838		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 80	為替影響	△ 200
原料価格	+ 240	その他	△ 97
総コスト削減	+ 270		
在庫評価影響	+ 365		
減価償却方法変更影響	+ 180		
合計	+ 1, 135	合計	△ 297



ECOWAY

全社 差異内訳【13年度 2月公表⇒実績】

(単位:億円)

2013年度 2月公表

2013年度実績

	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	431	269	700	431	418	850
						+150

増益要因			減益要因		
生産・出荷	+	40	原料価格	△	15
総コスト削減	+	5			
鉄鋼在庫評価影響	±	0			
アルミ銅在庫評価影響	+	5			
連結子会社・持分法	+	25			
その他	+	90			
合計		+ 165	合計		△ 15



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳【13年度 2月公表⇒実績】

(単位:億円)

2013年度 2月公表

2013年度実績

	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	155	135	290	155	180	335
						+45

増益要因			減益要因	
生産・出荷	+	55	原料価格	△ 15
総コスト削減	+	10	その他	△ 5
在庫評価影響	±	0		
為替影響	±	0		
合計	+	65	合計	△ 20



ECOWAY

全社 差異内訳【13年度 上期⇒下期】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△ 110	△ 71	△ 181	431	418	850
				△12		

増益要因			減益要因	
生産・出荷	+	90	総コスト削減	△ 35
原料価格	+	90	鉄鋼在庫評価影響	△ 140
アルミ銅在庫評価影響	±	0	連結子会社・持分法	△ 10
			その他	△ 7
合計	+	180	合計	△ 192



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳【13年度 上期⇒下期】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△ 240	△ 261	△ 502	155	180	335
				+24		

増益要因			減益要因	
生産・出荷	+	90	総コスト削減	△ 20
原料価格	+	90	在庫評価影響	△ 140
その他	+	19	為替影響	△ 15
合計		+ 199	合計	△ 175



ECOWAY

全社 差異内訳【13年度 ⇒ 14年度】

(単位:億円)

	2013年度 実績			2014年度 見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	431	418	850	250	550	800
						△50

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 30	鉄鋼在庫評価影響	△ 210
原料価格	+ 105	アルミ銅在庫評価影響	△ 10
総コスト削減	+ 50	その他	△ 155
連結子会社・持分法	+ 140		
合計	+ 325	合計	△ 375



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳【13年度 ⇒ 14年度】

(単位:億円)

	2013年度 実績			2014年度 見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	155	180	335	50	170	220
						△115

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 10	在庫評価影響	△ 210
原料価格	+ 105	為替影響	△ 50
総コスト削減	+ 85	その他	△ 55
合計	+ 200	合計	△ 315



ECOWAY

設備投資の状況

(単位:億円)

	2011年度 実績	2012年度 実績①	2013年度 実績②	2014年度 見通し③	差異	
					②-①	③-②
設備投資<計上>	960	1,149	1,014	1,350	△135	+336
対減価償却費	81%	108%	122%	150%	-	+0
" (IPP除く)	957	1,146	1,002	1,343	△144	+341
設備投資<支払い>	832	1,095	954	1,250	△141	+296
対減価償却費	71%	103%	115%	139%	-	+0
" (IPP除く)	830	1,091	943	1,243	△148	+300
減価償却費	1,180	1,067	829	900	△237	+71
" (IPP除く)	1,091	979	740	810	△239	+70



ECOWAY

四半期毎の業績推移

(単位:億円)

	2012年度実績				2013年度実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,341	4,244	3,891	4,378	4,186	4,707	4,359	4,994
営業損益	△ 27	83	8	47	193	351	310	290
経常損益	△ 104	△ 5	△ 52	△ 19	171	260	242	176
特別損益	△ 141	△ 38	152	△ 43	71	1	61	△ 102
当期損益	△ 322	△ 59	155	△ 42	187	254	196	63



ECOWAY

四半期毎の業績推移(セグメント別売上高)

(単位:億円)

	2012年度実績				2013年度実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
鉄鋼	1,922	1,913	1,789	1,802	1,857	2,042	2,013	2,171
溶接	213	206	195	205	204	215	222	241
アルミ・銅	719	657	613	631	723	757	721	753
機械	397	411	338	524	315	397	305	479
エンジニアリング	71	107	92	193	106	101	70	112
神鋼環境ソリューション	136	155	179	254	139	169	150	221
コベルコ建機	801	702	572	602	746	883	728	823
コベルコクレーン	95	125	105	127	115	139	143	167
その他	139	146	159	287	144	176	167	223
消去	△156	△181	△155	△251	△167	△177	△163	△201
合 計	4,341	4,244	3,891	4,378	4,186	4,707	4,359	4,994



ECOWAY

四半期毎の業績推移(セグメント別経常損益)

(単位:億円)

	2012年度実績				2013年度実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
鉄鋼	△189	△50	△130	△131	53	102	130	50
溶接	5	5	△0	11	12	16	20	23
アルミ・銅	17	△4	18	6	53	27	36	34
機械	24	19	35	40	10	10	23	20
エンジニアリング	△5	△2	△2	△2	2	△3	△15	△22
神鋼環境ソリューション	△1	4	4	31	△1	12	4	11
コベルコ建機	39	17	18	△6	28	73	18	30
コベルコクレーン	△4	△4	△3	△9	8	9	7	6
その他	10	11	15	38	8	15	17	27
消去	△0	△2	△7	2	△4	△2	0	△5
合 計	△104	△5	△52	△19	171	260	242	176



企業理念

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

以上の理念の下、グループ全体としての企業価値を向上させます。



将来見通しに関する注意事項

- ・ 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまふ可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- ・ 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - － 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - － 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - － 為替相場の変動
 - － 原材料のアベイラビリティや市況
 - － 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - － 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化